

明治33年1月24日、現在の三貫地新田の農家に生まれ、生後3カ月で失明しました。

5歳のときから厳しい修行に励み、昭和48年の廃業まで、さまざまな困難に直面しながらも瞽女として活動しました。

晩年には「最後の瞽女」として脚光を浴びました。昭和53年、瞽女唄が「記録作成等の措置を講ずべき無形文化財」に指定され、その保持者として認定されたほか、翌年には、黄綬褒章を授章。平成13年に三条市名誉市民になりました。

ギャラリーでは、愛用の三味線や資料を展示します。



◀ 愛用の三味線



こばやし
小林 ハルさん
(1900 - 2005年)

名誉市民ギャラリーで展示する

6人の三条市名誉市民と展示品の一部を紹介しします

このまちの 名誉市民 6人。



もろ はし てつ じ
諸橋 轍次さん (1883 - 1982年)

明治16年6月4日、現在の庭月に生まれました。幼い頃から漢学を学び、漢学の研究や教育に大きく貢献しました。戦争による印刷用の版の焼失、右目失明などの困難を乗り越え、昭和35年に、『大漢和辞典』を完成させました。

昭和37年に下田村名誉村民になりました。昭和40年に文化勲章、昭和51年には勲一等瑞宝章を授章しました。

ギャラリーでは、年表と解説、『大漢和辞典』を展示します。

諸橋轍次記念館

所在地 庭月434-1 ☎47-2208

利用時間 記念館 午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
諸橋博士生家、遠人村舎は午後4時30分まで

休館日 毎週月曜日(祝日のときは翌日)、
12月29日～1月3日

入館料 一般500円、学生無料

こちらも
チェック



諸橋轍次記念館
ホームページ



わた なべ よし お
渡辺 義雄さん
(1907 - 2000年)

明治40年4月21日、現在の本町に生まれました。上京して写真を学び、エンジニアとして勤務後、報道写真家、建築写真家として活動しました。昭和28年の伊勢神宮の第59回式年遷宮に際し、写真家として初めて御垣内からの撮影を許可され、第60回、61回の式年遷宮でも撮影しました。また、大学では、後進の教育にも当たりました。

平成2年に、写真家として初めて文化功労者となり、三条市名誉市民になりました。

ギャラリーでは、作品などを展示します。



伊勢神宮内宮正殿全景と東宝殿

ジャイアント馬場さん

ば ばしやうへい
本名:馬場正平(1938 - 1999年)

昭和13年1月23日、西四日町に生まれました。高校を中退してプロ野球読売ジャイアンツに入団しましたが、けがで引退。その後、日本プロレスの力道山に弟子入りしました。昭和40年には、NWA世界ヘビー級王座を獲得。昭和47年、全日本プロレスを旗揚げし、亡くなるまで現役を貫き、国内通算5758試合に出場しました。平成28年に三条市名誉市民になりました。

ギャラリーでは、愛車キャデラックや、等身大人形などを展示します。

一緒に
記念撮影が
できます



等身大人形



愛車のキャデラック

岩田 正巳さん (1893 - 1988年)

明治26年8月11日、現在の東裏館に生まれました。上京して日本画を学び、第5回帝展(現在の日展)で初入選。以後も特選などを受賞しました。風景・歴史画家として名声を得るとともに、94歳で亡くなるまで、創作活動を続けました。

昭和46年に勲四等旭日小綬章、昭和54年に勲三等瑞宝章を授章。昭和59年に三条市名誉市民になりました。

ギャラリーでは、人物画や風景画、使用していた絵筆や絵具などを展示します。



さえずり



つる まき さぶ ろう
鶴巻 三郎さん
(1908 - 2005年)

明治41年2月3日、現在の神明町に生まれました。上京し、染色工芸家で東京美術学校(現在の東京芸術大学)教授の広川松五郎の書生となり、独自技法の紙塑人形作りを始めました。越後工芸美術展や日本美術展覧会(日展)などで入選を果たすとともに、日展の審査委員や新潟県美術家連盟の理事長を務め、新潟における芸術文化活動の発展に貢献しました。昭和53年、勲五等双光旭日章を授章。平成14年に三条市名誉市民になりました。

ギャラリーでは、独自製法によって作られた紙塑人形作品を展示します。



おり鶴